

CORPORATE
PROFILE
2022

SUNTORY
SUNTORY BEVERAGE & FOOD

Promise／社会との約束

水と生きる Mizu To Ikiru

水は、地球上のすべての生命の源です。

「水と生きる」を掲げる会社として、自然を大切にし、社会を潤し、
そして新たな挑戦を続けることを約束します。

Vision

お客さまとともに
新たなおいしさ、健やかさ、
楽しさを創造し続け
それぞれの市場で最も愛される
会社となることを目指します

「フルバリューチェーンの進化」と 「真の現場主義」で力強い成長を実現

新型コロナウイルス感染症(コロナ)が世界に蔓延してから、2年が経とうとしています。

2021年はコロナの猛威により世界各国が大きな打撃を受けました。

その中で、あえて私たちは「攻める」ことをテーマに掲げ、様々な変革に積極的に取り組み、
当初計画よりも早くコロナ前の利益水準を超えることができました。

直近では、ワクチンの接種が進み世界的に需要が回復し始めています。

他方で原料費・輸送費・人件費等のコストが高騰しています。

厳しい環境は続く見通しですが、2022年、私たちは「フルバリューチェーン」
(原料からお客様に商品をお届けするまでの全てのプロセス)を徹底的に鍛え上げ、
需要増の機会を捉えると共に、コスト増に打ち勝ってまいります。

その実現のために組織や体制の「アジャイルトランスフォーメーション」も躊躇なく実行してまいります。

また、お客様の購買行動や嗜好の変化のスピードも益々早くなっています。

私自身も含めて可能な限り各国の市場に足を運び、購買の瞬間、消費の瞬間を
直接見て感じてアイデアを得ることが益々重要です。小さな変化を見落とさない

「真の現場主義」で、市場に先んじてお客様が必要とする商品と
サービスをお届けし続けてまいります。

そして、将来に向けた成長投資も続けてまいります。

新たな価値の創造、ビジネスモデルへの挑戦、

高付加価値事業への投資や、事業ポートフォリオの改革等、
必要な投資は思い切って行います。

加えて、サントリーグループ一丸となって重要性を増す
サステナビリティ活動にも注力します。

プラスチックの効率的な再資源化、CO₂排出量の削減、
水資源の保全と活用に向けて、意欲的な目標を掲げ、
グループ一丸となって取り組んでまいります。

サントリー食品インターナショナル株式会社
代表取締役社長

齋藤和弘



魅力的な商品をつくり続けるために

お客様に愛される商品を生み出す原動力。それは、研究開発です。“研究開発こそがメーカーの命”という考えは、創業時から続くサントリーグループのモットーです。私たちは国内・海外に専門部門を設置し、安全と安心の徹底、“おいしさ”の追求を研究開発の中心に据え、中味開発、原料の研究、加工技術の革新などにより、新たな価値の創造に取り組んでいます。



“新たな価値”を創出



長年積み重ねた研究開発を活かし、その機能だけではなく、おいしさにも徹底的にこだわった特定保健用食品や機能性表示食品の開発を進めています。

技術イノベーションにより、サントリーならではの独自の価値を持つ商品を開発し、新たな飲用スタイルの提案をしています。

飲みたい気持ちの、いちばん近くに。

お客様のオケージョンやニーズに合わせて自動販売機だけではなく、様々なタイプの機材のご提案に加え、専用商品の開発にも取り組むことで最適な品揃えを提供しています。



給茶機 カップ式自動販売機 ウォーターサーバー 飲料自動販売機

グローバルグループがつながり 世界中に“おいしい”をお届けます

私たちは、日本、アジアパシフィック、欧州、米州の4リージョンで事業を展開し、地域ごとのお客様の嗜好やニーズに合わせたおいしくてより健康的な商品をお届けしていきます。



サステナビリティの取り組み

サントリーグループは、企業理念に掲げる「人と自然と響きあう」の実現を目指し、グローバルにサステナビリティ経営を推進しています。

水

2030年までに、全世界の自社工場での水使用の35%削減を目指します※

工場での節水と共に、水源涵養や水の啓発にも取り組んでいます。具体的な活動の一つとして、地下水の安全・安心とサステナビリティを守るために、『工場で汲み上げる地下水の2倍以上の水』を、工場の水源涵養(かんよう)エリアの森で育んでいます。そのために、水科学研究所を中心として工場の水源涵養エリアを特定し、その周辺の行政や森林所有者と森林整備の中長期的な協定を結び、「天然水の森」を設定しています。サントリー「天然水の森」は、2003年熊本県・阿蘇からはじまり、2019年3月に「天然水の森 北アルプス」(長野県大町市)を新たに加入、15都府県21箇所、約12,000haまで広がっています。※2015年における事業領域を基準とする



CO2

2030年までに、自社拠点での温室効果ガス排出の50%削減を目指します※

『サントリー天然水』第4の水源として、2021年5月から稼働を始めた「サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場」(長野県大町市)では、太陽光発電設備やバイオマス燃料を用いたボイラーの導入、再生可能エネルギー由来電力の調達などにより、サントリー国内初のCO2排出実質ゼロ工場を実現しました。また海外では、フランスで「Donnery工場」など4工場でオフセットを活用し、CO2排出実質ゼロを実現しており、生産研究拠点で順次、再生可能エネルギー100%切り替えを進めています。 ※2019年の排出量を基準とする



プラスチック

2030年までにグローバルで使用する全ペットボトルの100%サステナブル化を目指します

2030年までに、グローバルで使用するすべてのペットボトルの素材を、リサイクル素材と植物由来素材に100%切り替えるという目標に向かって、取り組みを推進しています。国内では、2022年中に2本に1本が「100%サステナブルボトル※1」になることを目指します。そして新たに、ペットボトルは資源として何度も循環できることを伝える新ロゴマーク『ボトルは資源! サステナブルボトルへ』を国内ペットボトル全商品※2へ3月以降順次展開し、啓発活動など消費者の皆様とのコミュニケーションを強化します。さらに、日本で培ったペットボトルのサステナブル化技術を、海外現地グループ会社と協働して展開することで、サントリーの「ペットボトルの100%サステナブル化」を一段とグローバルで加速させます。

※1リサイクル素材あるいは植物由来素材のみを使用したペットボトル
※2ラベルレス商品を除く



会社概要

サントリー食品インターナショナル株式会社

本店所在地：東京都港区芝浦3丁目1番1号 田町ステーションタワーN

設立：2009年1月

代表取締役社長：齋藤 和弘

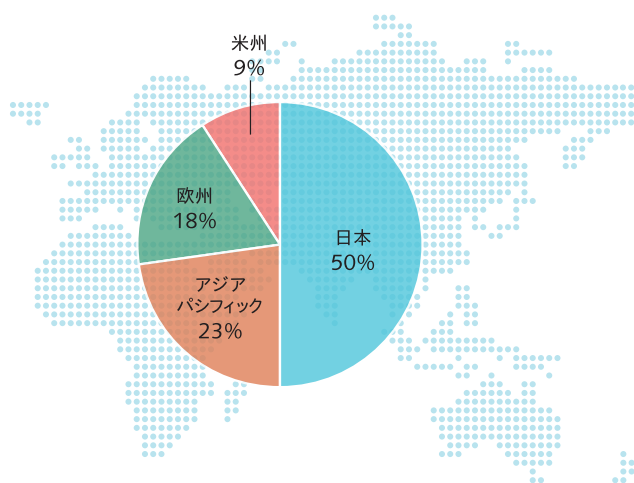
グループ概要

● グループ会社：88社（2021年12月31日現在） ● 従業員数：23,866名（2021年12月31日現在） ● 資本金：168,384百万円

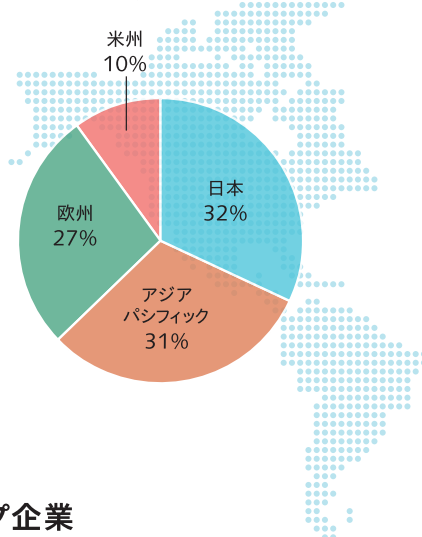
● **売上・利益**（2021年12月期） 2017年12月期よりIFRSに準拠

● 連結売上高：12,689億円（2021年1月1日～12月31日） ● 連結営業利益：1,186億円（2021年1月1日～12月31日）

セグメント別売上構成比



セグメント別利益構成比



● 国内グループ企業

サントリーフーズ株式会社
サントリーフーズ沖縄株式会社
サントリービバレッジソリューション株式会社
株式会社サンベンド
サントリープロダクツ株式会社

● 海外グループ企業

アジア パシフィック	Suntory Beverage & Food Asia Pte. Ltd. Suntory Beverage & Food International (Thailand) Co., Ltd. PT SUNTORY GARUDA BEVERAGE Suntory PepsiCo Vietnam Beverage Co., Ltd. Suntory PepsiCo Beverage (Thailand) Co., Ltd. FRUCOR SUNTORY NEW ZEALAND LIMITED FRUCOR SUNTORY AUSTRALIA PTY. LIMITED
欧州	Orangina Schweppes Holdings B.V. Lucozade Ribena Suntory Limited
米州	Pepsi Bottling Ventures LLC

サントリーグループ

サントリーグループは、純粋持株会社制を導入しており、清涼飲料、酒類の製造・販売等を行っています。

グループ会社：285社（2021年12月31日現在）	連結売上収益（酒税控除後）：22,857億円（2021年1月1日～2021年12月31日）
従業員数：40,275名（2021年12月31日現在）	連結売上収益（酒税込み）：25,592億円（2021年1月1日～2021年12月31日）
創業：1899年	連結営業利益：2,475億円（2021年1月1日～2021年12月31日）

サントリー食品インターナショナル株式会社

<https://suntory.jp/sbf/>

経営企画部